

## 第5 世帯の就業状態

### 1 世帯主の就業状態

#### 「世帯主が無業」の世帯は平成19年と比べ増加

「世帯主が有業」の世帯は、457万4千世帯（構成比70.4%）と、平成19年の448万3千世帯（同73.2%）と比べると9万1千世帯増加しているものの、構成比は2.8ポイント低下している。年齢階級別にみると、「35～64歳」288万9千世帯（同88.9%）が最も多く、次いで「15～34歳」116万5千世帯（同84.7%）、「65歳以上」52万世帯（同28.0%）となっている。

また、「世帯主が無業」の世帯は191万1千世帯（同29.4%）と、平成19年の162万8千世帯（同26.6%）と比べると28万3千世帯増加し、構成比は2.8ポイント上昇している。年齢階級別にみると、「65歳以上」133万9千世帯（同72.0%）が最も多く、次いで「35～64歳」36万1千世帯（同11.1%）、「15～34歳」21万1千世帯（同15.3%）となっている。

（表5-1、統計表第78表）

表5-1 世帯主の就業状態、年齢階級別世帯数

（単位 千世帯、%）

区分	世帯数						構成比					
	平成24年			平成19年			平成24年			平成19年		
	総数	世帯主が有業	世帯主が無業	総数	世帯主が有業	世帯主が無業	総数	世帯主が有業	世帯主が無業	総数	世帯主が有業	世帯主が無業
総数	6,499	4,574	1,911	6,120	4,483	1,628	100.0	70.4	29.4	100.0	73.2	26.6
15～34歳	1,376	1,165	211	1,419	1,229	191	100.0	84.7	15.3	100.0	86.6	13.4
35～64歳	3,250	2,889	361	3,058	2,741	317	100.0	88.9	11.1	100.0	89.6	10.4
65歳以上	1,859	520	1,339	1,633	513	1,120	100.0	28.0	72.0	100.0	31.4	68.6

## 2 世帯主の就業状態による世帯所得

「世帯主が有業」の世帯所得は「500万円以上」が半数以上、「世帯主が無業」の世帯所得は「300万円未満」が半数以上

世帯所得を世帯主の就業状態別にみると、「世帯主が有業」の世帯では、世帯所得が「500～699万円」85万1千世帯（構成比18.6%）が最も多く、次いで「1000万円以上」76万8千世帯（同16.8%）、「700～999万円」74万7千世帯（同16.3%）となっており、「500万円以上」の世帯が過半数を占めている。

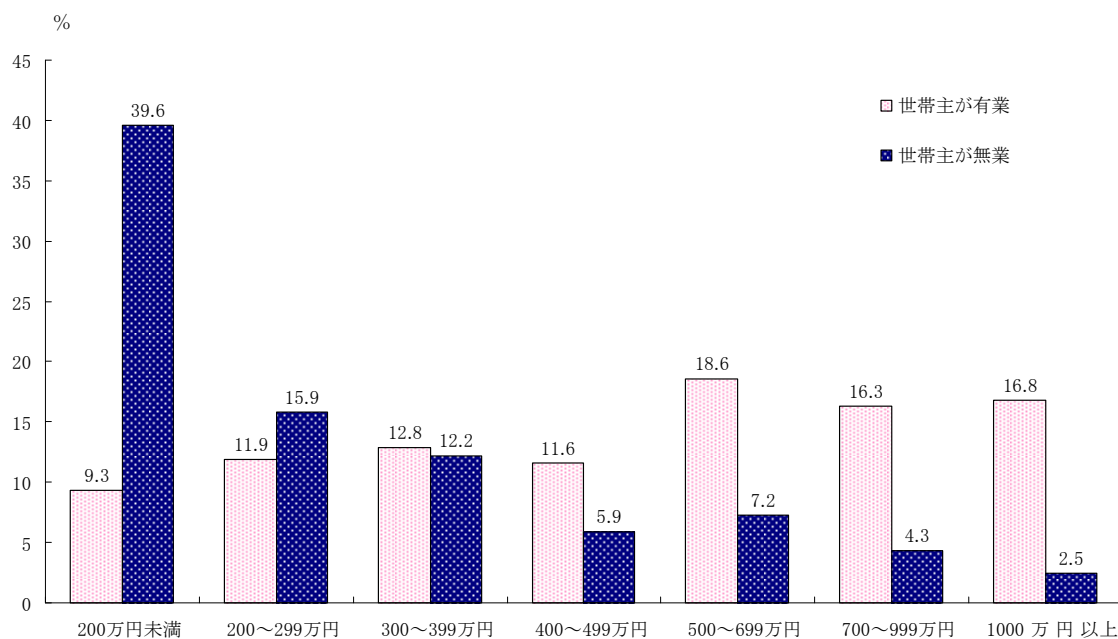
また、「世帯主が無業」の世帯では、世帯所得が「200万円未満」75万7千世帯（同39.6%）が最も多く、次いで「200～299万円」30万3千世帯（同15.9%）となっており、「300万円未満」の世帯が過半数を占めている。（表5-2、図5-1、統計表第79表）

表5-2 世帯主の就業状態、世帯所得別世帯数

（単位 千世帯、%）

区分	世帯数			構成比		
	総数	世帯主が有業	世帯主が無業	総数	世帯主が有業	世帯主が無業
総数	6,499	4,574	1,911	100.0	100.0	100.0
200万円未満	1,183	426	757	18.2	9.3	39.6
200～299万円	846	543	303	13.0	11.9	15.9
300～399万円	821	588	233	12.6	12.8	12.2
400～499万円	642	529	113	9.9	11.6	5.9
500～699万円	989	851	138	15.2	18.6	7.2
700～999万円	830	747	83	12.8	16.3	4.3
1000万円以上	816	768	48	12.6	16.8	2.5

図5-1 世帯主の就業状態による世帯所得の分布



### 3 世帯の家族類型別所得

#### 一般世帯の所得は「500万円以上」が半数以上、単身世帯の所得は「300万円未満」が約半数

一般世帯（住居と生計をともにしている二人以上の集まり）では「1000万円以上」は71万4千世帯（構成比20.6%）、次いで「500～699万円」は67万1千世帯（同19.4%）、「700～999万円」は64万9千世帯（同18.7%）となっており、「500万円以上」の世帯が過半数を占めている。

家族類型別にみると、「夫婦のみの世帯」では、「500～699万円」19万世帯が最も多く、次いで「300～399万円」18万世帯、「夫婦と子供から成る世帯」では、「1000万円以上」41万世帯が最も多く、次いで「700～999万円」36万世帯などとなっている。

また、単身世帯では、「200万円未満」93万5千世帯（同30.8%）が最も多く、次いで「200～299万円」54万3千世帯（同17.9%）となっており、「300万円未満」の世帯が約半数を占めている。

（表5-3、図5-2、統計表第80表）

表5-3 世帯の家族類型、世帯所得別世帯数

（単位 千世帯、%）

区分	総数	一般世帯	家族類型		単身世帯	構成比	一般世帯	単身世帯
			うち夫婦のみの世帯	うち夫婦と子供から成る世帯				
総数	6,499	3,467	1,157	1,452	3,032	100.0	100.0	100.0
200万円未満	1,183	248	105	27	935	18.2	7.2	30.8
200～299万円	846	302	153	50	543	13.0	8.7	17.9
300～399万円	821	384	180	98	438	12.6	11.1	14.4
400～499万円	642	348	129	135	293	9.9	10.0	9.7
500～699万円	989	671	190	340	318	15.2	19.4	10.5
700～999万円	830	649	162	360	181	12.8	18.7	6.0
1000万円以上	816	714	176	410	102	12.6	20.6	3.4

図5-2 一般世帯及び単身世帯の世帯所得別分布

